



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3765 URL <http://www.gungho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理 本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	119,219	△10.2	58,858	△19.9	59,063	△18.5	37,251	△25.1
26年12月期第3四半期	132,828	14.3	73,441	7.2	72,504	5.6	49,715	16.7

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 36,185百万円(△23.4%) 26年12月期第3四半期 47,258百万円(9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	34.51	34.51
26年12月期第3四半期	43.28	—

(注) 平成26年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	95,723	84,049	86.0
26年12月期	161,081	131,203	80.0

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 82,288百万円 26年12月期 128,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 27年12月期の配当額は未定であります。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期末毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期3Q	1,057,892,400株	26年12月期	1,152,010,000株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	98,417,678株	26年12月期	4,300,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期3Q	1,079,448,850株	26年12月期3Q	1,148,720,004株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画等については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- 平成27年10月29日 (木) ・ ・ ・ ・ ・ 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、国内スマートフォンの契約台数の伸びが鈍化する一方で、ゲーム業界では、本年9月に「東京ゲームショウ2015」が開催され、出展社数は過去最高を記録することとなりました。出展社480社の過半(246社)を海外出展社が占めており、国際的なゲーム展示会として拡大するとともに、出展内容は、従来からの家庭用ゲーム機向けのゲームに加え、日本では既に幅広く浸透しているスマートフォン向けゲーム、さらにはゲームの新たな可能性を示すVR(バーチャルリアリティ(※1))や、自分のプレイ動画を実況を交えて配信するゲーム実況など、様々なゲームの楽しみ方が提案され、日本のゲーム市場は一段と盛り上がりを見せております。

このような環境の下、当社は重要な経営指標をMAU(Monthly Active User(※2))とし、ユーザー数の維持・拡大を目指し、継続的なゲームの運営に努めてまいりました。

スマートフォン向けゲームでは、主力タイトル「パズル&ドラゴンズ(以下「パズドラ」)」に新たなゲーム要素「ランキングダンジョン」を実装し、ハイレベル帯のユーザーの皆様にもさらに楽しんで頂けるよう新しい「パズドラ」の遊びを提案いたしました。「パズドラ」は既にサービス開始から3年半が経過し、ユーザーの皆様のプレイ習熟度が向上していることから、課金率は低下いたしました。MAUは依然として高水準を維持しております。

一方、「サモンズボード」では第2四半期より継続して行っているテレビCMが奏功した結果、新規顧客獲得が加速しダウンロード数を着実に伸ばしてまいりました。さらに「ディバインゲート」では、ゲームの世界観やキャラクター設定の奥深さなどが根強いファンを獲得し、平成28年1月からテレビアニメ化が決定するなど、今後はゲームを核としたマルチプラットフォーム展開を開始してまいります。

海外展開においては、中国版「パズドラ」の準備を順調に進めてまいりました。日本と中国のスマートフォンゲームユーザーは、ゲームプレイの習慣や嗜好が異なることから、日本で配信中の「パズドラ」を大部分において改変を行ってまいりました。その上で、7月から中国市場におけるテストサービスを実施し、正式サービスへ向けた準備を着実に進めております。また、北米版「パズドラ」においては、9月28日から北米におけるテレビCMを実施し、新規顧客獲得の増加を目指してまいります。

その他、新作ゲーム開発については、平成27年内にサービス開始を予定していたスマートフォン向け新作ゲーム及びPlayStation®4向け新作ゲーム「LET IT DIE」においては、さらにゲームを楽しんで頂けるようゲーム性を追求することを目的とし、平成28年にサービス開始を延期することいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高119,219百万円(前年同期比10.2%減)、営業利益58,858百万円(前年同期比19.9%減)、経常利益59,063百万円(前年同期比18.5%減)、四半期純利益37,251百万円(前年同期比25.1%減)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※1 VR(バーチャルリアリティ)とは、仮想現実のことで、コンピュータグラフィックや音響効果を組み合わせて人工的に現実感を作り出す技術であります。

※2 MAU(Monthly Active User マンスリーアクティブユーザー)とは、月に1回以上、ゲームにログインしている利用者であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、95,723百万円(前連結会計年度末比65,357百万円減少)となりました。これは主に、公開買付けによりソフトバンク株式会社から自己株式を取得した結果、現金及び預金が63,607百万円減少したことによります。なお、ソフトバンク株式会社は平成27年7月1日付でソフトバンクグループ株式会社に商号変更しております。

負債合計は、11,673百万円(前連結会計年度末比18,203百万円減少)となりました。これは主に、法人税等を支払った結果、未払法人税等が14,884百万円減少したことによります。

純資産合計は、84,049百万円(前連結会計年度末比47,154百万円減少)となりました。これは主に、スマートフォンゲームの売上高が堅調に推移した結果、利益剰余金が四半期純利益の計上により37,251百万円増加し、また純資産が自己株式の取得に伴い79,999百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」)等が平成26年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等(ただし、連結会計基準第39項に掲げられた定めを除く。)を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

ただし、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表及び当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書への当該会計基準等の早期適用による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	132,099	68,491
売掛金	16,094	13,669
有価証券	543	1,354
商品	33	19
仕掛品	63	83
繰延税金資産	1,295	383
その他	836	855
貸倒引当金	△60	△62
流動資産合計	150,905	84,794
固定資産		
有形固定資産合計	405	271
無形固定資産		
のれん	1,493	1,266
ソフトウェア	1,778	1,107
ソフトウェア仮勘定	1,158	2,272
その他	53	74
無形固定資産合計	4,484	4,721
投資その他の資産		
投資有価証券	2,629	2,636
繰延税金資産	652	564
その他	2,135	2,855
貸倒引当金	△131	△120
投資その他の資産合計	5,285	5,935
固定資産合計	10,175	10,929
資産合計	161,081	95,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	579	455
短期借入金	243	146
1年内返済予定の長期借入金	232	934
未払法人税等	19,612	4,728
賞与引当金	11	26
その他	7,785	4,719
流動負債合計	28,466	11,009
固定負債		
長期借入金	1,009	198
退職給付に係る負債	11	12
その他	389	452
固定負債合計	1,411	663
負債合計	29,877	11,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,471	5,471
利益剰余金	120,414	113,756
自己株式	△2,780	△42,314
株主資本合計	128,443	82,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	261
為替換算調整勘定	391	△224
その他の包括利益累計額合計	462	37
新株予約権	—	100
少数株主持分	2,297	1,660
純資産合計	131,203	84,049
負債純資産合計	161,081	95,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	132,828	119,219
売上原価	42,791	39,336
売上総利益	90,037	79,882
販売費及び一般管理費	16,595	21,023
営業利益	73,441	58,858
営業外収益		
受取利息	97	120
為替差益	—	157
その他	13	46
営業外収益合計	111	324
営業外費用		
支払利息	19	36
持分法による投資損失	1,021	—
自己株式取得費用	0	58
為替差損	6	—
その他	0	25
営業外費用合計	1,048	119
経常利益	72,504	59,063
特別利益		
関係会社株式売却益	7,591	—
特別利益合計	7,591	—
特別損失		
減損損失	223	204
特別損失合計	223	204
税金等調整前四半期純利益	79,872	58,858
法人税、住民税及び事業税	28,272	21,085
法人税等調整額	2,170	999
法人税等合計	30,443	22,084
少数株主損益調整前四半期純利益	49,428	36,774
少数株主損失(△)	△287	△477
四半期純利益	49,715	37,251

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,428	36,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	190
為替換算調整勘定	247	△779
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,417	—
その他の包括利益合計	△2,170	△588
四半期包括利益	47,258	36,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,444	36,825
少数株主に係る四半期包括利益	△186	△640

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成26年 2月3日 取締役会	普通株式	利益剰余金	2,880	2.50	平成25年 12月31日	平成26年 3月10日

(注) 平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり配当額は当該株式分割後の配当額を記載しております。

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成26年2月3日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,300,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,780百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,780百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年 2月3日 取締役会	普通株式	利益剰余金	3,443	3.00	平成26年 12月31日	平成27年 3月9日

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年4月28日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けによりソフトバンク株式会社から自己株式188,235,200株(取得価額79,999百万円)を取得しております。

また、平成27年6月24日開催の取締役会決議に基づき、平成27年6月30日付で自己株式94,117,600株を消却しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が39,533百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が42,314百万円となっております。なお、ソフトバンク株式会社は平成27年7月1日付でソフトバンクグループ株式会社に商号変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。